

Rinnai

2013年度 第3四半期 決算説明

2014年2月7日

2013年度 第3四半期 連結決算要点

1

売上高: 2089.9億円 (前期比 +11.3%)

堅調な国内販売に加え、海外の販売回復と為替影響で増収

営業利益: 244.0億円 (前期比 +20.2%)

日本、中国、アメリカが好調 増収効果と原価低減努力で増益

経常利益: 268.0億円 (前期比 +20.8%)

営業利益改善と持分法利益、為替差益等の加算で増益

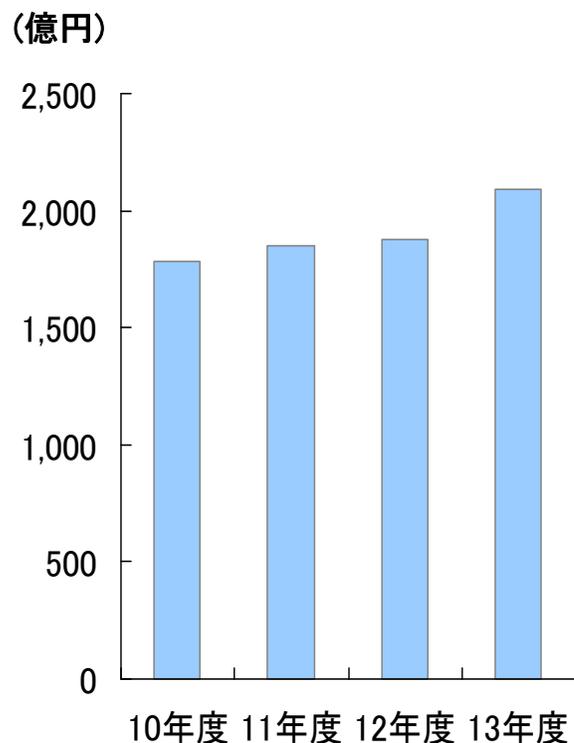
四半期純利益: 169.9億円 (前期比 +11.8%)

特筆すべき利益加算無く経常利益改善で増益

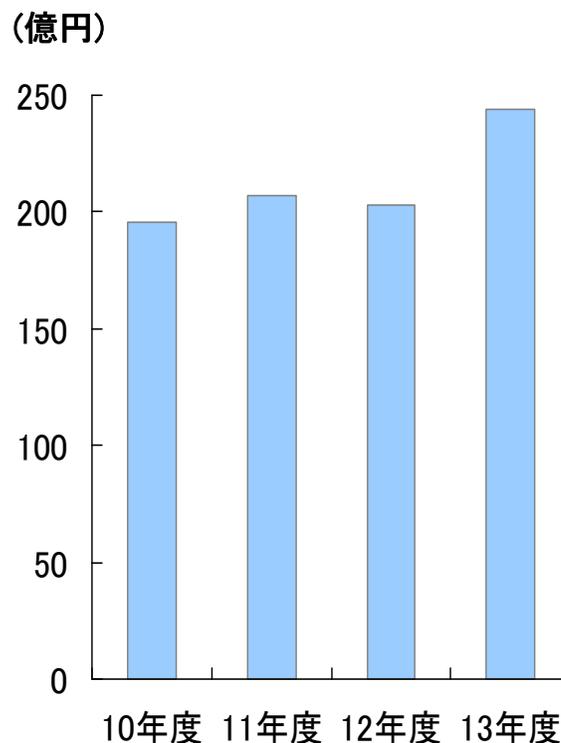
- ・営業利益率: 11.7%、経常利益率: 12.8%、純利益率: 8.1%と高水準
- ・中期経営計画『ジャンプUP 2014』2年目を順調に進捗

連結業績推移（第3四半期）

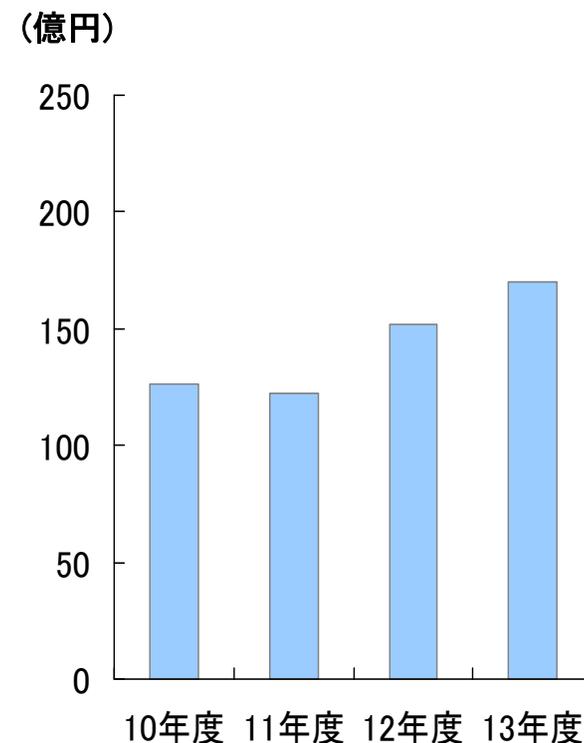
売上高



営業利益



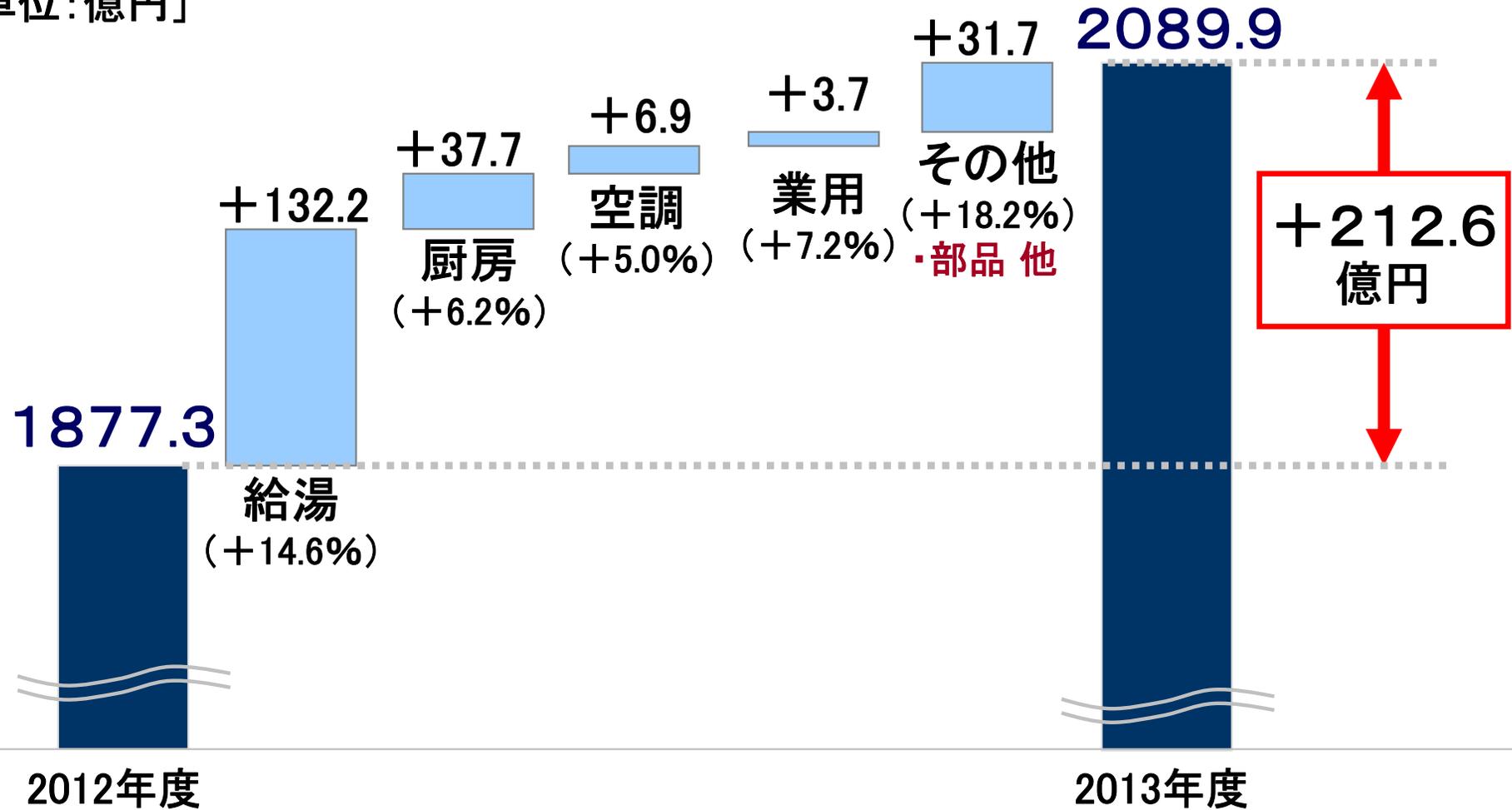
四半期純利益



- ・国内外で安定した成長。増収増益基調を継続
- ・売上高、営業利益、経常利益、純利益とも過去最高

2013年度 第3四半期 連結売上分析(商品別)

[単位:億円]



- ・給湯分野は国内で給湯暖房システムが伸長、米・中の販売好調が増収を牽引
- ・国内での高付加価値商品へのシフトと、海外での成長で全商品分野で売上増

2013年度 第3四半期 連結損益実績内訳

[単位:億円]

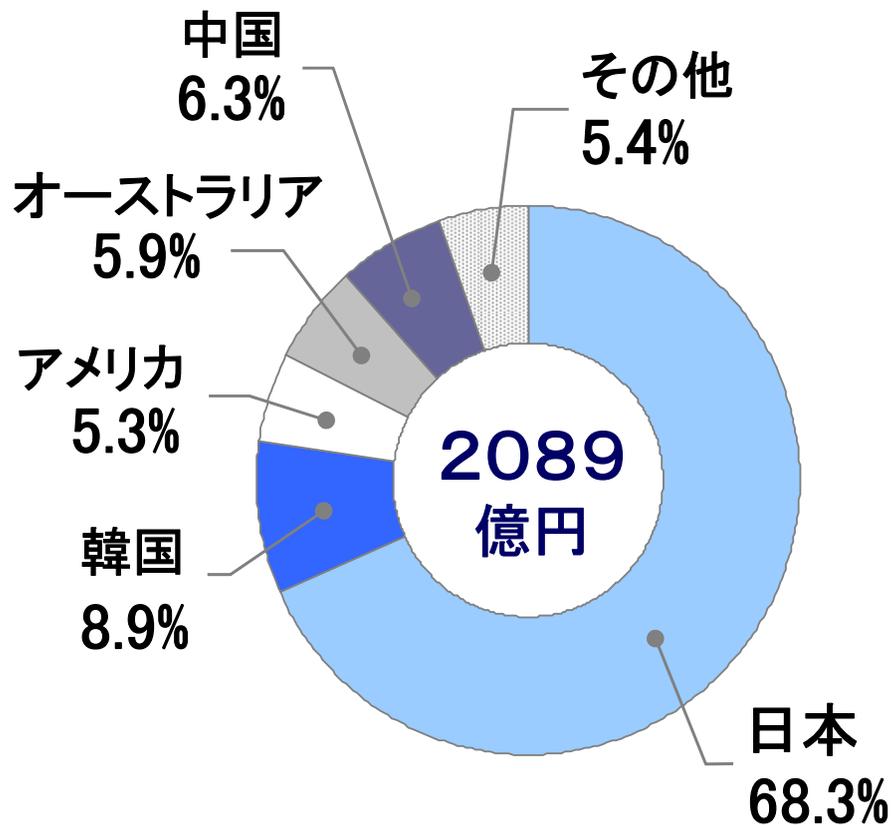
	売上高	前期比 増減率	営業利益	前期比 増減率	営業利益率	前期比 増減率
連結	2089.9	+11.3%	244.0	+20.2%	11.7%	+0.9P



	売上高	前期比 増減率	営業利益	前期比 増減率	営業利益率	前期比 増減率
リンナイ	1499.2	+5.7%	169.5	+24.3%	11.3%	+1.7P
国内関連	759.5	+5.4%	21.7	+7.6%	2.9%	+0.1P
海外関連	712.4	+28.7%	51.5	+13.7%	7.2%	△1.0P
合計	2971.2	+10.4%	242.8	+20.2%	8.2%	+0.7P

連結売上高 セグメント(地域)別構成比

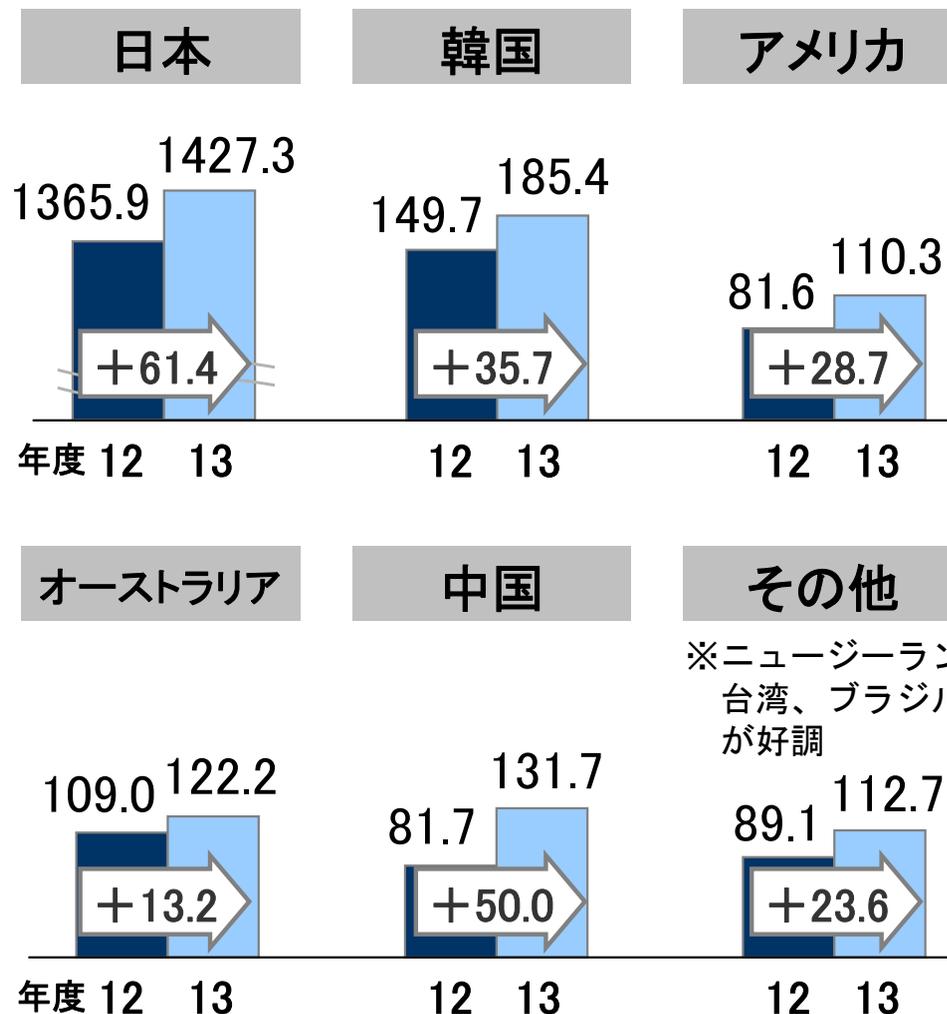
2013年度3Q 売上高



※その他: 台湾・タイ・ベトナム・ニュージーランド・ブラジル等の現地法人の事業活動を含む

セグメント(地域)別前年比較

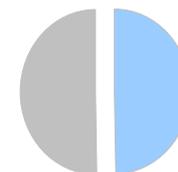
[単位: 億円]



※ニュージーランド
台湾、ブラジル
が好調

商品別売上実績（給湯機器）

商品構成比：49.6%



日本

アメリカ



オーストラリア

[単位:億円]	2012年度 3Q	2013年度 3Q	前期比 増減率
日本	602.1	642.4	+6.7%
韓国	63.6	68.5	+7.9%
アメリカ	74.5	101.4	+36.1%
オーストラリア	56.4	61.2	+8.4%
中国	67.2	106.7	+58.8%
その他	40.4	56.1	+39.0%
合計	904.4	1,036.7	+14.6%

- ・国内は給湯暖房システム等、高付加価値商品へのシフトが加速
- ・アメリカでの景気回復、中国での生活水準向上に伴い現地販売好調
- ・韓国、オーストラリアは景況感悪化で伸び悩む

商品別売上実績（厨房機器）

商品構成比：30.8%



日本



韓国



中国

[単位:億円]

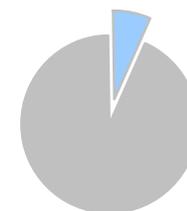
	2012年度 3Q	2013年度 3Q	前期比 増減率
日本	530.8	541.8	+2.1%
韓国	40.5	54.0	+33.4%
中国	12.6	20.0	+58.5%
その他	21.9	27.8	+26.9%
合計	606.0	643.7	+6.2%

- ・国内はキッチンのシステム化が進みビルトインコンロとレンジフードが伸長
- ・韓国ではコンロ過熱防止装置の取付け義務化。単価上昇で売上増
- ・中国ではガスインフラ拡大と生活水準向上でコンロ、レンジフードが好調

商品別売上実績（空調機器）

[単位:億円]	2012年度 3Q	2013年度 3Q	前期比 増減率
日本	90.4	87.5	△3.2%
韓国	0.7	1.3	+91.8%
アメリカ	6.3	8.0	+25.9%
オーストラリア	38.1	43.9	+15.2%
その他	4.3	6.1	+41.2%
合計	140.1	147.0	+5.0%

商品構成比：7.0%



日本

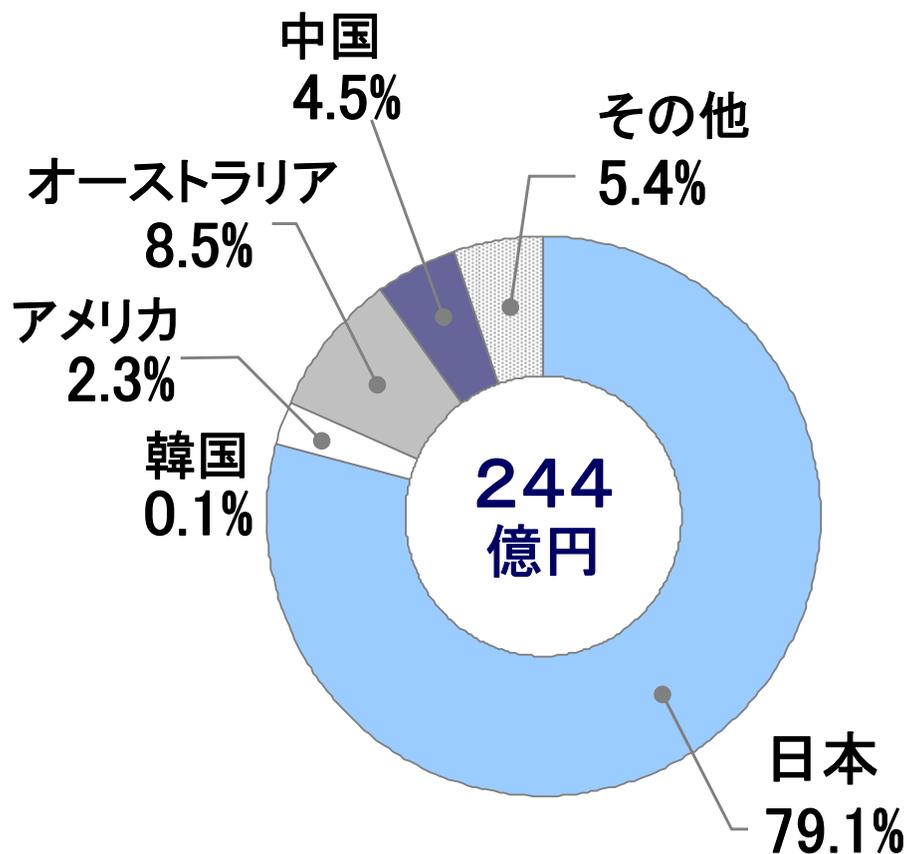


オーストラリア

- ・日本では震災後の節電志向によるガス暖房機需要は一巡
2010年度3Q対比で+21.9%と高水準を維持
- ・オーストラリアでは暖冬影響で伸び悩む

連結営業利益 セグメント(地域)別構成比

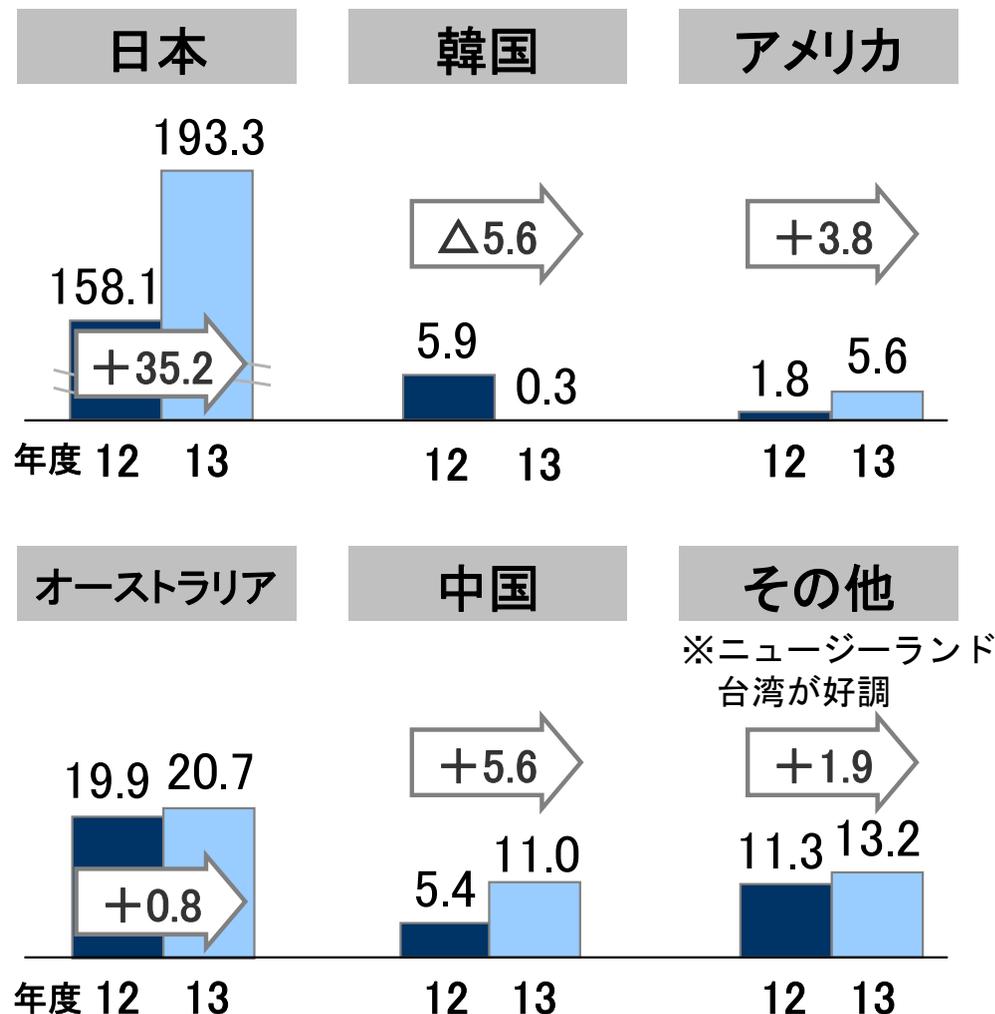
2013年度3Q 営業利益



※その他: 台湾・タイ・ベトナム・ニュージーランド・ブラジル等の現地法人の事業活動を含む

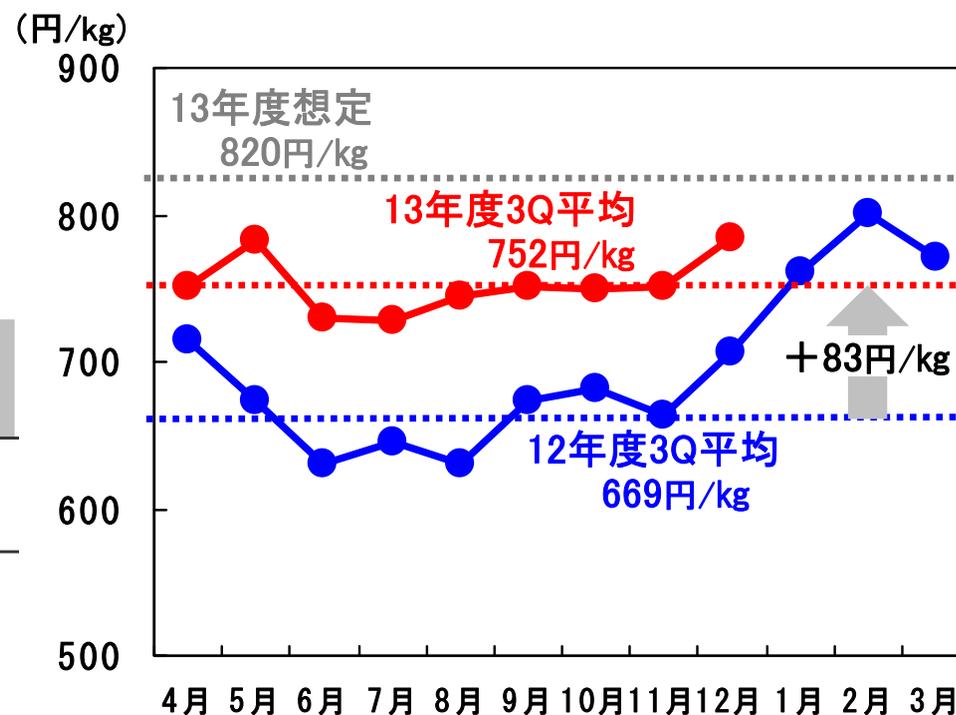
セグメント(地域)別前年比較

[単位: 億円]



電気銅の動向

- ・13年度の期初の想定単価
820円/kg を下回り推移



	12年度 3Q	13年度 3Q	前期比 増減率
平均単価	669	752	+12.4%

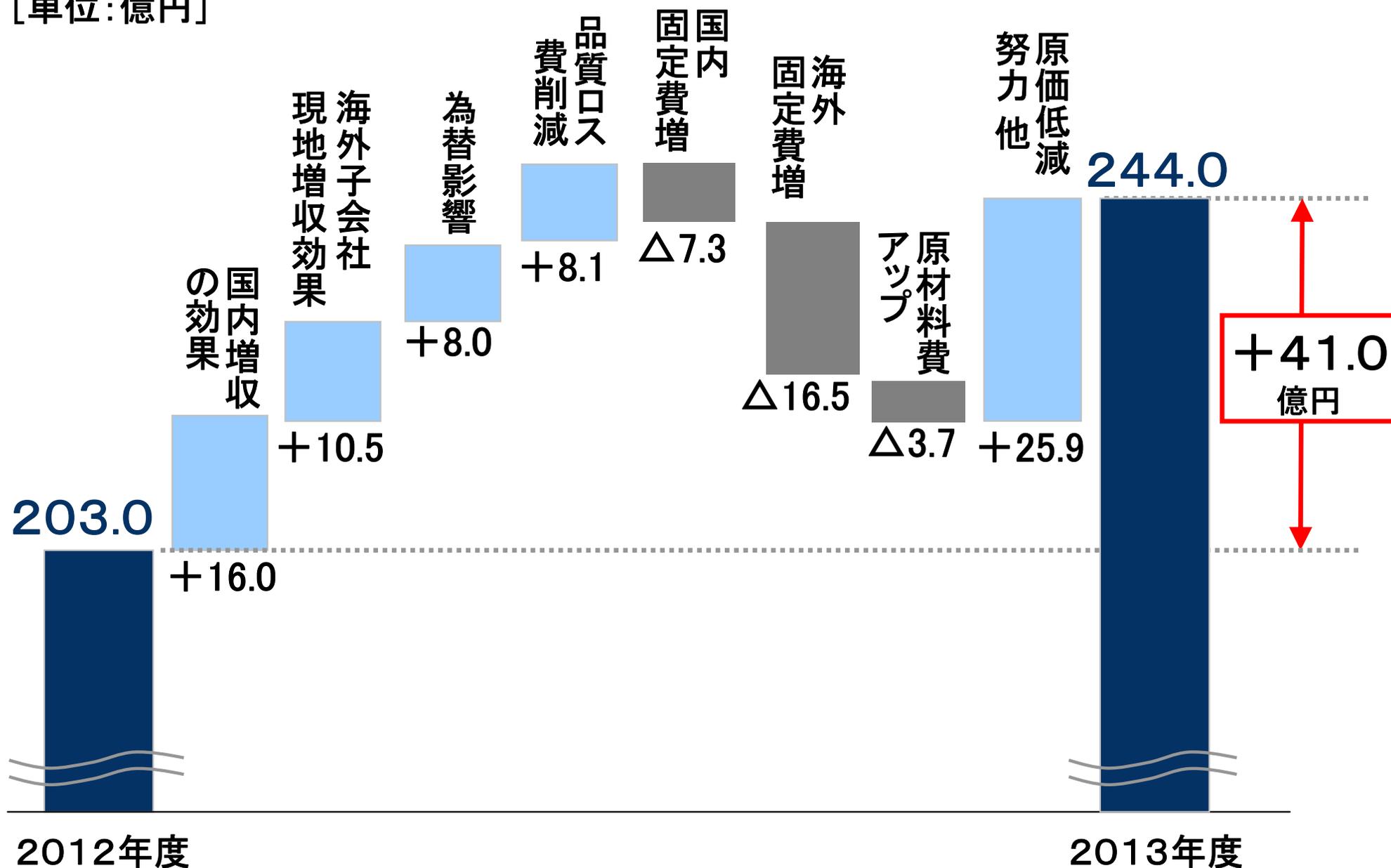
※使用箇所: 給湯器(熱交換器等)

鉄鋼の動向

- ・鉄鋼材料は昨年並みの水準で推移

2013年度 第3四半期 連結営業利益分析

[単位:億円]



給湯器の3つのタイプ

給湯単能機

ふろ給湯器

給湯暖房機



下位機種から上位機種へシフト



エコ

(※リンナイでのシリーズ名)

小売価格: 18~22万円



キッチン、洗面所、シャワーへの給湯、浴槽への湯はり



エコUF

(※リンナイでのシリーズ名)

小売価格: 35~40万円

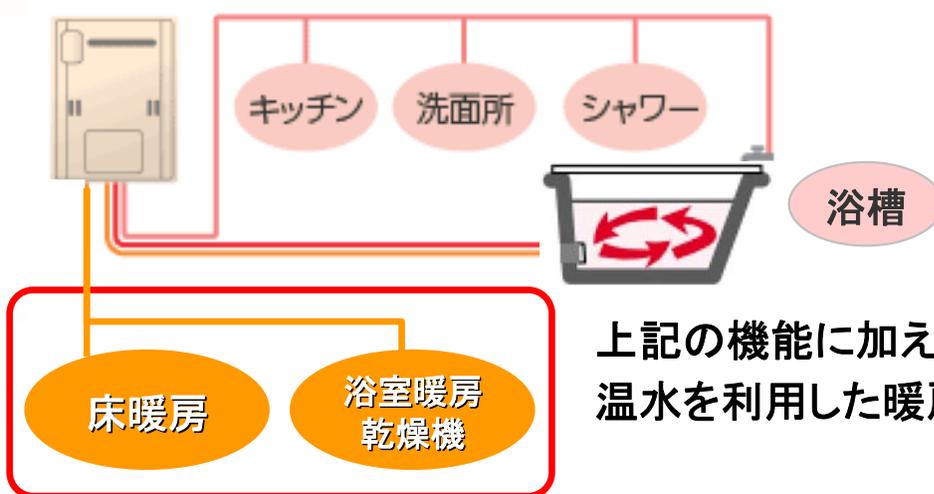


上記の機能に加え、浴槽のお湯のおいだし



小売価格: 45~50万円

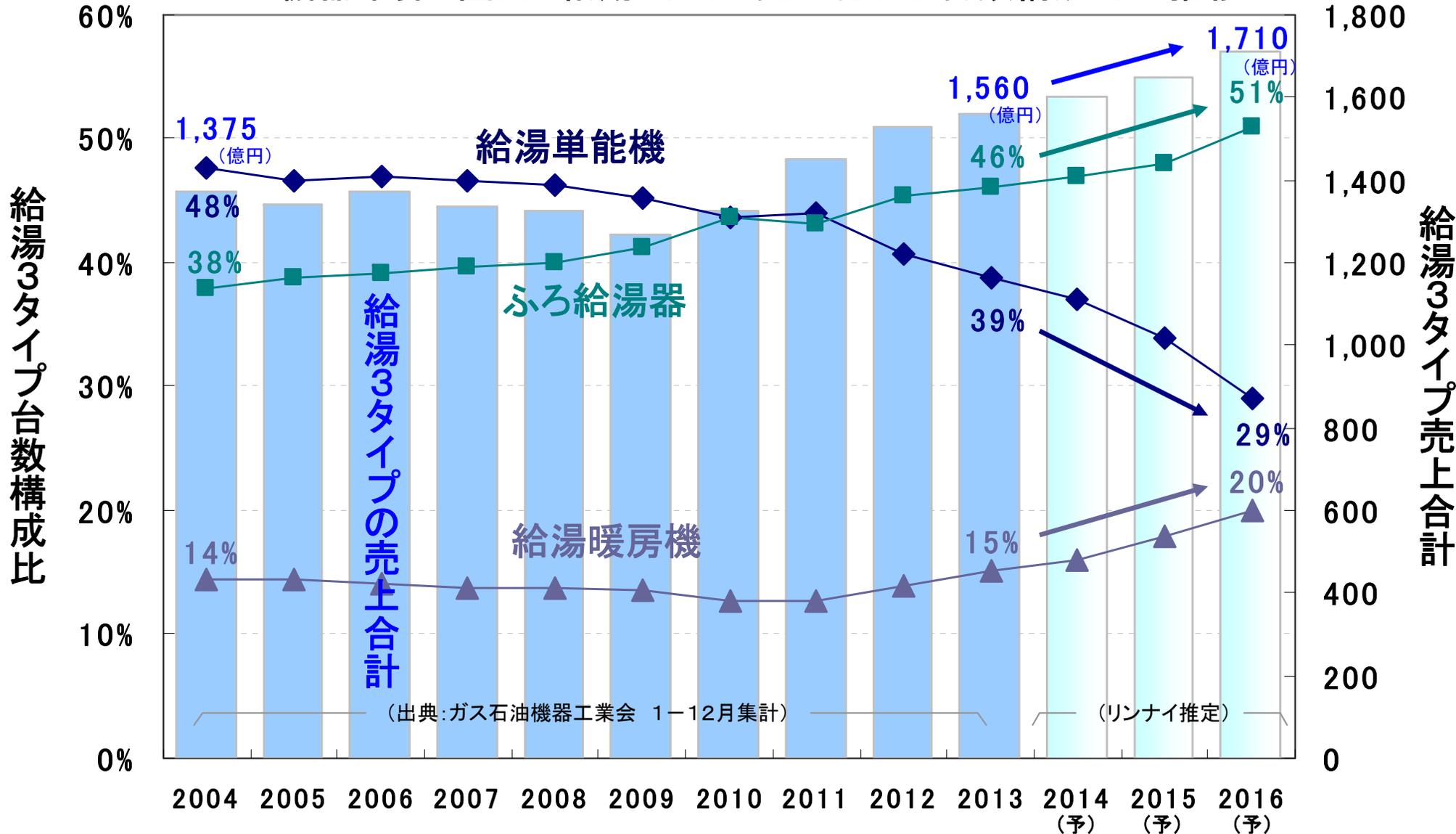
浴室暖房乾燥機: 15~25万円
床暖房: 40~60万円



上記の機能に加え、温水を利用した暖房・乾燥

給湯機器の台数構成比変化

ガス機器業界 国内 給湯3タイプ売上および台数構成比の推移



上位機種へのシフトによって、売上高の増加は継続すると予測

安心で快適な温水式暖房システム

1台の熱源機で、給湯から暖房まで
快適な暮らしを実現するガス給湯・暖房システム



(天井タイプ)



(壁掛けタイプ)



ファンコンベクタ

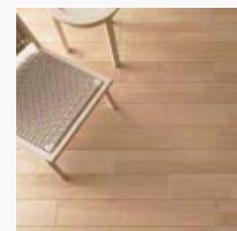


パネルヒータ

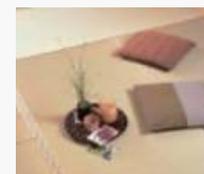


床暖房

室内の空気を汚さない、
省エネ性の高い暖房



フローリング



畳タイプ



簡易温水マット

浴室暖房乾燥機

暖房



浴室を暖めて急激な血圧変動
による「ヒートショック」を防ぐ

乾燥



浴室を使って衣類乾燥



ECO ONE

熱源機

ハイブリッド給湯・暖房システム
給湯暖房機

Si 全口センサー搭載
センサーコンロ
2,000万台!
突破!

コンロの温度センサー標準装備

2008年からSiセンサーを搭載し
現在、業界2,000万台を突破!

コンロ火災が大幅に低下
市場普及率:47%

(※リンナイ推定)



テーブルコンロ



ビルトインコンロ



レンジフード

ビルトインコンロと
レンジフードのセット販売
を推進

(セット販売率:14%)

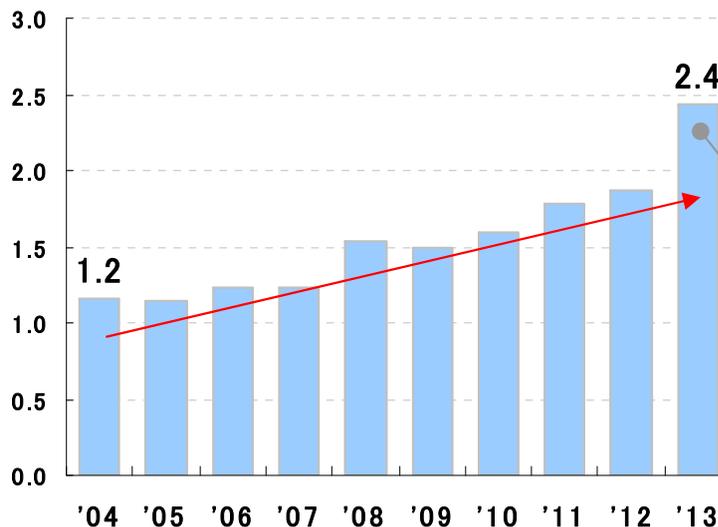


レンジフード連動ビルトインコンロ

ビルトインコンロの点火と連動して
レンジフードが自動的に運転・停止



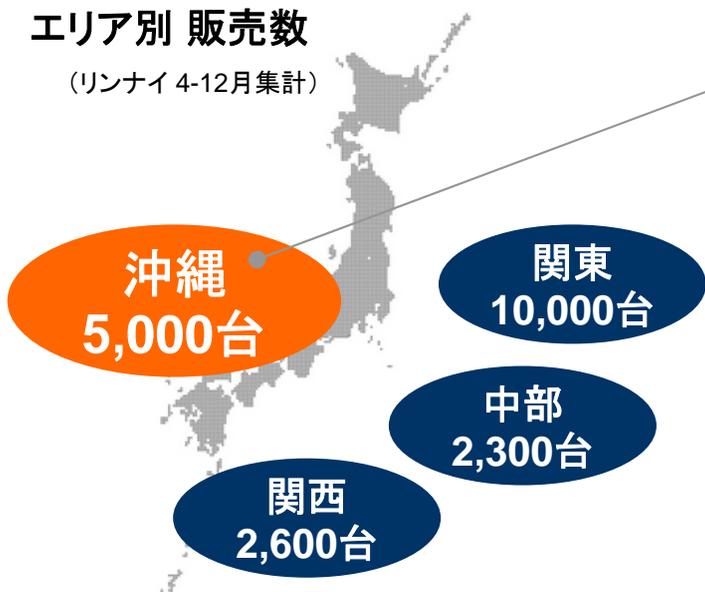
(万台) 衣類乾燥機 販売数推移 (リンナイ 4-12月集計)



昨年6月発売の新製品
「はやい乾太くん」の効果
(13年ぶりのフルモデルチェンジ)

現在、衣類乾燥機は過去最高の販売数を記録
(3Q)

エリア別 販売数
(リンナイ 4-12月集計)



沖縄の販売数が多い

【理由】

- ・潮風、塩害
- ・年間降水量が多い
- ・共働きの多い(盗難対策)
- ・高温、多湿

今後想定される それ以外の導入理由

- ・PM2.5
- ・黄砂
- ・花粉
- ・放射線
- ・景観



平成25年度省エネ大賞(主催:一般財団法人省エネルギーセンター) 製品・ビジネスモデル部門
省エネ大賞の最高賞「経済産業大臣賞」を受賞



省エネ大賞表彰式

- ・給湯における一次エネルギー消費効率 国内No.1※ (一次エネルギー消費効率125%)
 - 低い温度で沸かすことで給湯効率アップ
 - お湯の使用時間を学習し、シーンごとに最適な運転
- ・ガス給湯器をバックアップ機として備え、湯切れなし

※低炭素建築物の認定基準の給湯設備一次エネルギー消費量比較

さまざまな住宅に対応するラインアップ



タンク一体型

タンク・給湯器分離型

- ・機器構成によって戸建やマンションに対応
- ・本格暖房やふろ給湯など生活スタイルに合わせたバリエーション展開
- ・太陽光発電との組合せで売電量アップ
- ・スマートハウス時代の社会インフラへ

真の省エネ製品「ECO ONE」は低炭素社会実現の切り札

連結設備投資 実績と計画

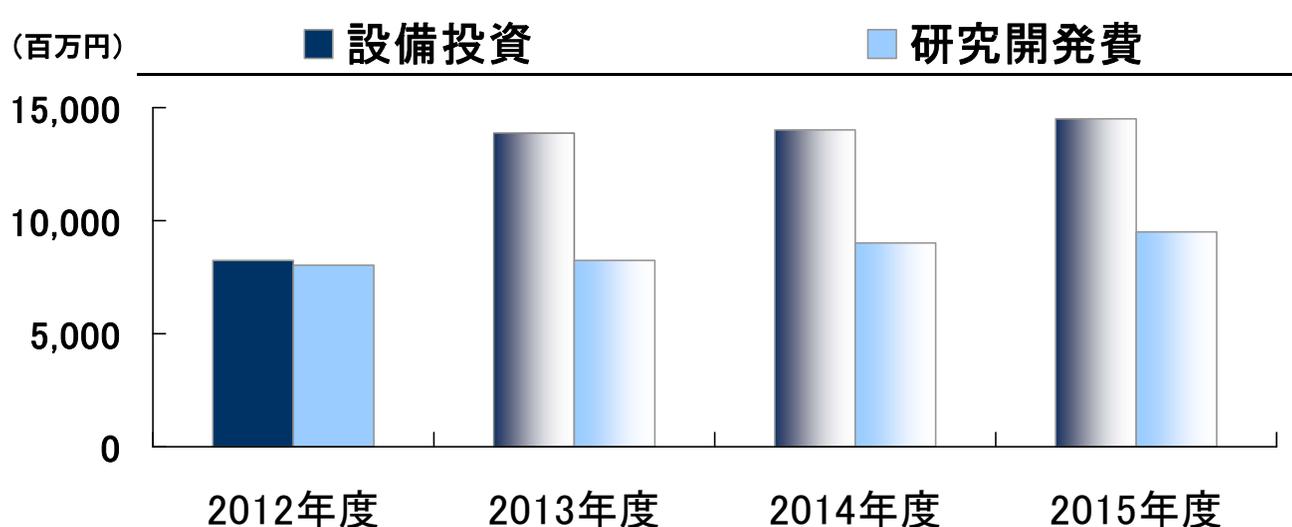
(百万円)

	2012年度 通期実績	2013年度 通期計画	2013年度 第3四半期実績
設備投資	8,222	13,900	7,911
減価償却	8,805	8,700	5,965
研究開発費	8,060	8,300	6,234

【主な投資実績】

- ・暁工場 合理化設備
- ・製造関連 建物増築
- ・営業拠点 移転・拡張
- ・オーストラリア新本社
など

今後の設備投資計画



今後も中期的に
140～150億円の
投資を継続予定

国内（次なる技術革新への体制固め）

製造 新工場を軸にグループのモノづくりを革新



暁工場
浴室暖房乾燥機の一貫生産から稼働
13年5月～



ハイブリッド
給湯・暖房システム
ECO ONE
浴室暖房
乾燥機

- ・ECO ONE(エコワン)3万台体制造り
- ・今後の成長の柱であるシステム商材を合理的に一貫して造る体制構築

開発

- ・研究開発設備の増強
- ・生産技術センターの体制強化



生産技術センター

営業

- ・営業拠点のスペース拡充
(北海道・北陸・関東・関西・中部等)
- ・物流、サービス体制の強化・充実



つくば研修センター

海外（成長ドライバーへの戦略的投資）

- ・アジア生産拠点の生産能力増強（中国、インドネシア、ベトナム、タイ 他）
- ・次の成長期待市場への戦略的投資（アセアン、欧州 他）

熱と暮らしを創造する

Rinnai

本資料に掲載されております業績予想や将来予想は、現時点において入手可能な情報に基づき当社が判断して予想したものであり、実際の業績は今後様々な要因の変化により予想とは異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。